

平成 28 年 3 月 25 日

東松島復興推進員だより(第 26 号)

～地を往きて走らず～

JICA 地域復興推進員(野蒜地区担当)

齊藤 弘紀

東日本大震災から 5 年が経過しました。東松島市野蒜地域では、5 月末の土地引渡し開始を控え、防災集団移転計画地の整備が行われているなど、少しずつですが住宅の再建が進んでいる様子も見られます。

5 年の節目を迎えた翌日の 2016 年 3 月 12 日には、仙台国際センターにて『仙台防災未来フォーラム 2016』が開催されました。本フォーラムは、昨年 3 月に開催された『第 3 回国連防災世界会議』の 1 周年の機会に仙台市主催で企画されたイベントです。仙台・東北で復興や防災・減災に取り組んできた市民、行政、研究機関の関係者等が集い、活動事例などを発表するとともに、国連防災世界会議で採択された国際的な防災指針である「仙台防災枠組 2015-2030」を踏まえたそれぞれの今後の活動の方向性や課題を話し合い、仙台・東北から未来に貢献する防災推進のために、何ができるのかについて考え、発信されました。

本フォーラムでは、私たち地域復興推進員も(独)国際協力機構(JICA)のメンバーとしてブース展示とテーマセッションを開催しました。本号では当日の様子をご紹介します。

〈ブース展示 見て触って国際協力体験〉



私たち推進員もご案内しました。



国際協力を体験できるブース

ブース展示では、JICA が取り組んできた防災事業や、フィリピン、ネパールの復旧・復興支援、国際緊急援助隊について紹介を行いました。また地震多発国トルコの防災対策や、各国の情報についてつまみを引くとパタパタ変わる展示品、インドネシアのバンダ・アチエの防災に関する紙芝居など、体験しながら知ることができるブース作りをしました。加えて、国際緊急援助隊の活動や、東日本大震災後にフィリピンから研修員が来日した際の映像 DVD の紹介も行いました。そして来場者のご案内は私たち地域復興推進員です。中には、「将来、国際協力をしたいのだけれど…」「国際緊急援助隊に入るにはどうしたらいいの?」といった質問をされる高校生や大学生の方もおり、もしかしたら将来、世界の現場で活躍する人材が、今回のイベントをきっかけに出てくるのでは! ?と、期待できる場面もありました。

〈テーマセッション “Build Back Better” 東日本大震災の経験からより強い世界へ〉



東松島市役所高橋復興政策課長



会場には 115 名の来場がありました。

午前 11 時から 12 時 40 分まで、テーマセッション『“Build Back Better” 東日本大震災の経験からより強い世界へ』を開催しました。JICA は 2013 年 11 月 8 日にフィリピンを襲った台風ヨランダ(国際名ハイヤン)、2015 年 4 月 25 日に発生したネパール地震において、『より良い復興“Build Back Better”』という考えの下、東日本大震災を含む過去の日本の大災害の教訓等を踏まえた復興支援を実施しています。

本セッションでは、国際枠組と日本の防災・復興の経験や海外の復興支援事業の現状について、台風ヨランダの概要と JICA による復興支援について JICA が報告し、来日した現地タクロバン市の担当官から復興状況について報告がありました。また、日本の自治体による復興まちづくりの取組みと国際交流の事例として、私たち地域復興推進員が活動している東松島市からの紹介もありました。登壇してくださった東松島市役所高橋復興政策課長からは、同市の環境未来都市や「より良い復興」を目指

した具体的な施策、震災を契機とした海外との繋がりをご紹介いただきました。また、この交流から、同市の復興施策を活かした海外への協力としてインドネシアバンダ・アチエ市との相互復興や、ヨランダ台風における支援についてもご紹介をいただきました。

〈フォーラムを終えて〉

日本、特に東北地方は、地震や津波災害を乗り越えてきた経験があり、多くの知見が蓄積されています。また、今回の災害復興においても、新しい取り組みが行われており、東北地方から世界の防災や復興に貢献できることが多くあると感じています。

東日本大震災後、日本はこれまで世界 254 ヶ国と地域から支援を受けていますが、今後、日本の震災経験を国際協力で紹介することで、それらの国々への恩返しにつながると信じています。また、国際的な交流や支援は途上国のみならず、日本の住民目線でも多くのことを学べる機会であり、地方を元気にする事業であるとも思っています。

今回のフォーラムは、私を含め、全ての参加者にとって日本の経験を踏まえた世界の防災・減災、復興の未来に貢献するきっかけを考える良い機会となったと思います。これからも、日本の地方と世界がつながるお手伝いしながら、双方が元気になれるような地域復興推進員の活動に邁進していきたいと思えます。

【推進員だよりバックナンバー：JICA 東北ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/index.html>

以上

JICA は、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団(NPO)等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で開始しました。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋ぎます。
